

東北地方 1か月予報

(10月27日から11月26日までの天候見通し)

平成24年10月26日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温は高い見込みですが、低くなる日もあり気温の変動が大きいでしょう。

<予想される向こう1か月の天候>

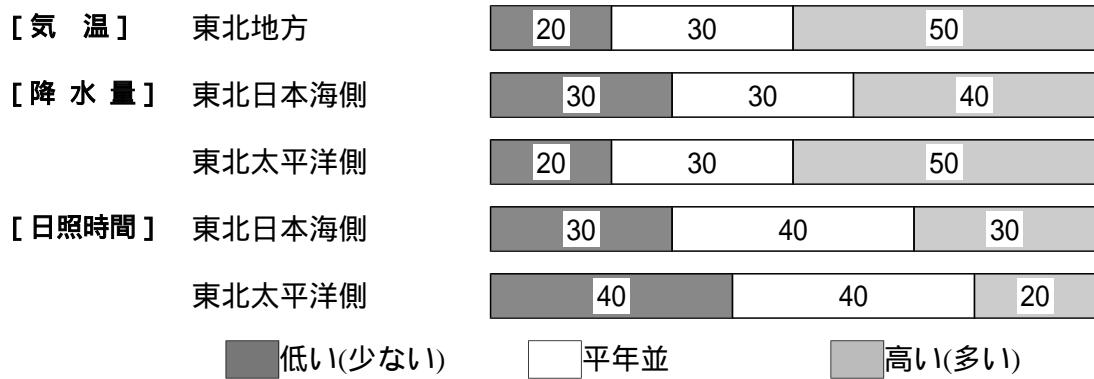
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

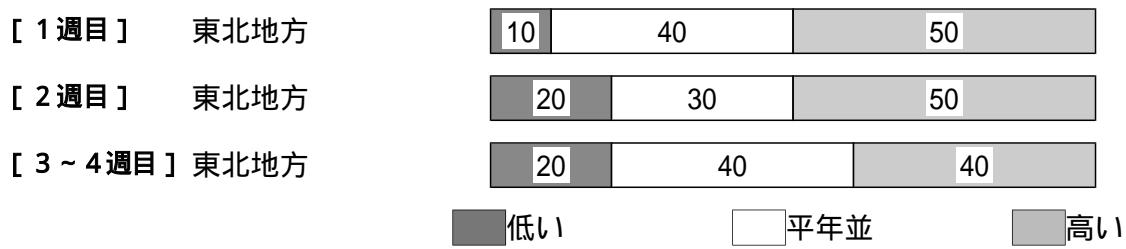
向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、東北太平洋側で多い確率50%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は、高い確率50%です。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 10月27日(土)~11月26日(月)

1週目 : 10月27日(土)~11月2日(金)

2週目 : 11月3日(土)~11月9日(金)

3~4週目 : 11月10日(土)~11月23日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は11月2日

3か月予報:11月22日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3～4週目
青森	7.8	136.7	99.6	10.3	9.1	6.5
深浦	8.6	150.5	76.9	11.0	9.9	7.4
むつ	7.4	112.6	116.2	9.9	8.7	6.2
八戸	7.9	64.2	143.1	10.3	9.2	6.6
秋田	8.8	184.0	94.8	11.2	10.1	7.6
盛岡	6.8	90.5	125.1	9.2	8.0	5.6
大船渡	9.2	98.5	141.9	11.4	10.4	8.0
宮古	8.6	83.1	154.9	10.8	9.8	7.6
仙台	10.2	69.9	148.2	12.5	11.4	9.1
石巻	9.4	73.1	155.1	11.7	10.7	8.3
山形	8.3	83.9	108.8	10.6	9.4	7.1
新庄	7.3	190.8	71.1	9.7	8.5	6.2
酒田	10.1	224.7	94.5	12.4	11.3	9.0
福島	10.0	68.8	136.2	12.3	11.2	8.9
若松	8.0	81.2	96.1	10.3	9.1	6.9
白河	8.6	73.9	150.3	10.8	9.7	7.5
小名浜	11.9	90.6	166.4	13.9	12.9	10.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.1～+0.6	80～113	96～106
東北日本海側	-0.1～+0.6	92～108	96～106
東北太平洋側	-0.1～+0.7	67～117	95～105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.5～+0.7	-0.3～+0.8	-0.5～+0.6
東北日本海側	-0.5～+0.8	-0.3～+0.8	-0.5～+0.6
東北太平洋側	-0.5～+0.8	-0.4～+0.8	-0.5～+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成24年10月26日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（10月27日～11月26日）：

冬型の気圧配置の影響は少なく、低気圧の影響を受ける日が多いでしょう。東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。期間の前半は、気温は高い見込みですが、低くなる日もあり気温の変動が大きいでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、東北太平洋側で多い確率50%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

1週目（10月27日～11月2日）：

明日（27日）は高気圧におおわれて晴れるところがありますが、その後は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。なお、期間のはじめは発達する低気圧の影響で、荒れた天気となるおそれがあります。

気温は、高い確率50%です。

2週目（11月3日～11月9日）：

冬型の気圧配置の影響は少なく、低気圧の影響を受ける日が多いでしょう。東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

気温は、高い確率50%です。

3～4週目（11月10日～11月23日）：

冬型の気圧配置の影響が弱く、低気圧の影響を受ける日が多いでしょう。東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

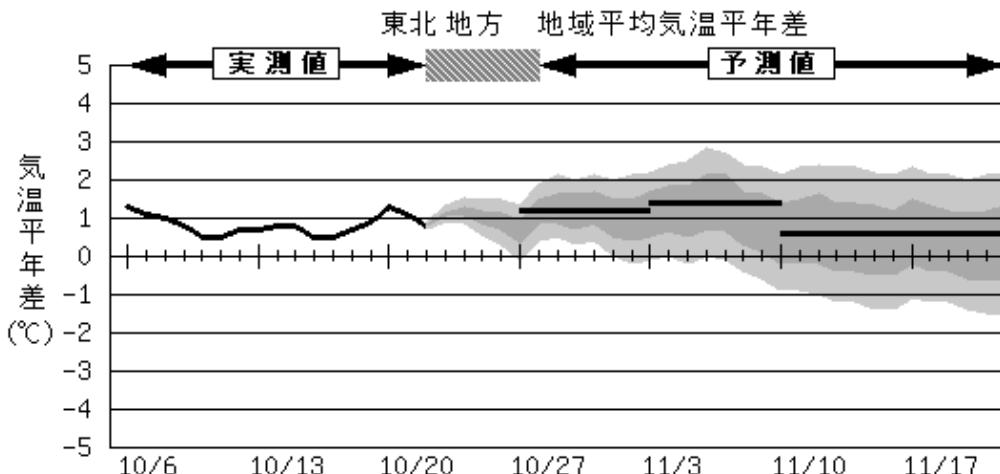
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
10.3	14.5	9.7	15.9	13.2	10.7	16.7	5.9	11.1	10.5	15.4	6.0

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに平年を上回る予想となっている。



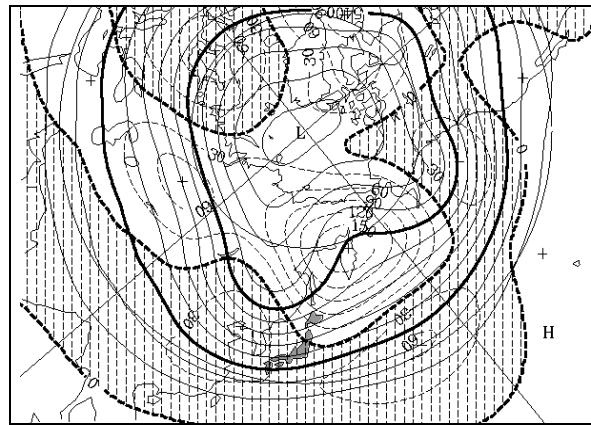
- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: カムチャツカ半島付近にブロッキング高気圧が見られ、明瞭な正偏差となる一方、黄海から東シナ海付近は気圧の谷となる。このため、偏西風は大きく蛇行し、本州付近では南から北に向かって流れれる。東北地方は、南からの温かく湿った気流の影響を受けやすく、高温が予想され、東北太平洋側は多雨となる見込み。

1週目: カムチャツカ半島付近にブロッキング高気圧が見られる一方、黄海付近には気圧の谷が予想される。東北地方は暖かく湿った気流が流れ込みやすくなるため、曇りや雨の日が多く、高温が予想される。

2週目: カムチャツカ半島付近にブロッキング高気圧が引き続き見られ、黄海から東シナ海付近には気圧の谷が予想される。東北地方は、一週目に引き続き暖かく湿った気流が流れ込みやすく、曇りや雨の日が多く、高温が予想される。



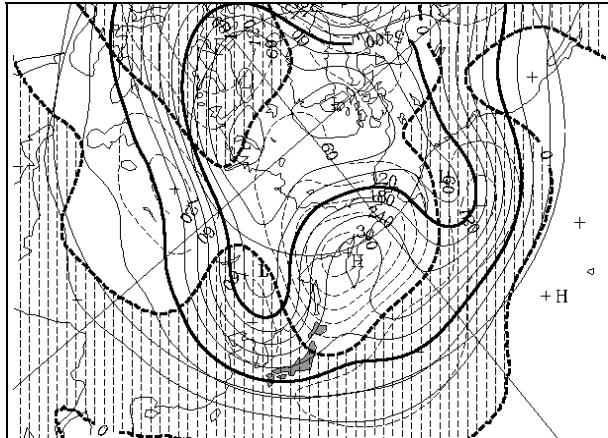
1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。

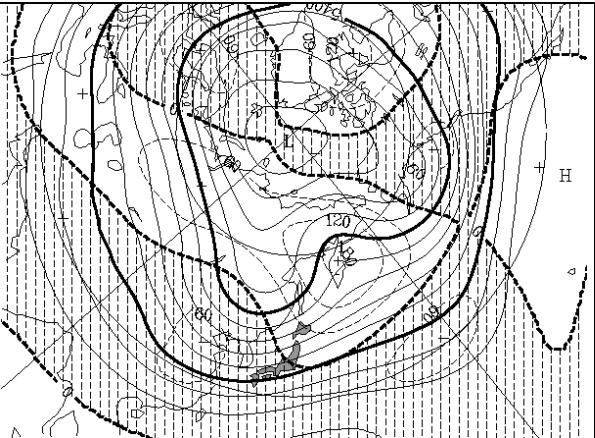
2週目: カムチャツカ半島付近にブロッキング高

気圧が引き続き見られ、黄海から東シナ海付近には気圧の谷が予想される。東北地方は、一週目

に引き続き暖かく湿った気流が流れ込みやすく、曇りや雨の日が多く、高温が予想される。



1週目平均 500hPa 予想天気図



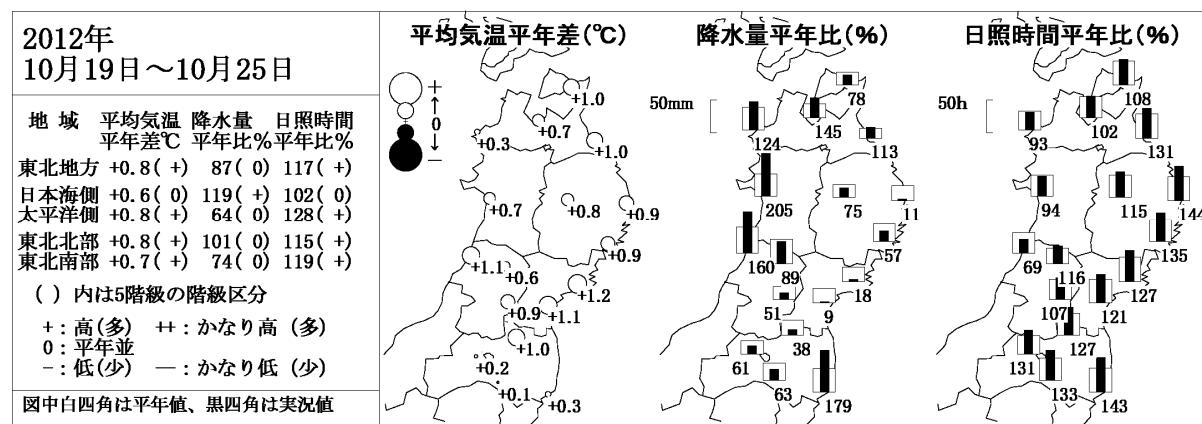
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（10月19日～10月25日）の天候の経過

この期間、高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、期間の中頃は寒冷前線が東北地方を通過したため曇りや雨となった日があった。21日、23日は、寒冷前線の影響により東北日本海側を中心に大雨となったところがあった。25日は、寒気を伴った気圧の谷の影響により秋田県で大雨となったところがあった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）